

# CiP協議会入会のご案内

ーコンテンツ・イノベーション@竹芝ー



2019年度に完成予定の「都市再生ステップアップ・プロジェクト(竹芝地区)」は、東京都の土地を活用する東急不動産・鹿島建設の事業です。また、国家戦略特区として本事業が区域計画認定される見込みです。

竹芝地区を、コンテンツ研究・人材育成拠点として構築していくために、社団法人CiP協議会を設立し、2015年4月より、活動を本格化させます。

本活動にぜひご参画頂きたいようお願い申し上げます。

# 東京・竹芝にデジタル×コンテンツの 産業集積地を創ります。

東京都有地1.5haに、  
業務棟(地上39階建地下2階)  
住宅棟(地上21階)が2019年度に完成予定。



産業界・政府と連携して、  
デジタル×コンテンツ産業の発展を促し、  
産業力強化・国際競争力向上に貢献します。

# 想定する デジタル× コンテンツ

マンガ・アニメ・ゲーム、映像、音楽等のエンタテインメント。  
さらにコマース、教育、ビッグデータなどの領域を対象とします。  
マルチスクリーン、クラウドネットワーク、ソーシャルメディア。  
さらにウェアラブル、IoTなどのジャンルをカバーします。  
そして、その次の領域を拓きます。

ゲーム

スポーツ

ネットワーク

アニメ

医療

クラウド

マンガ

教育

ビッグデータ

音楽

Eコマース

ウェアラブル

映像

マルチ  
スクリーン

IoT

出版

3Dプリント

スマート  
シティ



# 竹芝の 位置づけ

空と海との近さを活かします。  
東京オリンピック・パラリンピック会場との近さも魅力。  
都内の地域、全国の地域、海外との連携にも力を入れます。

## <東京>

- ・空路への玄関口(浜松町)と海の玄関口への近傍性
- ・東京オリンピック・パラリンピック会場への近接性
- ・汐留、秋葉原、渋谷といったコンテンツ産業集積地との連携
- ・国家戦略特区として、電波、空間利用等の特例措置を今後視野に。

## <日本>

- ・京都、沖縄、札幌といったコンテンツ産業が盛んな地域との連携

## <世界>

- ・シリコンバレー、シンガポール、ソウル、ボストン、ロンドン、パリといったデジタル×コンテンツの研究、開発、産業の拠点との連携



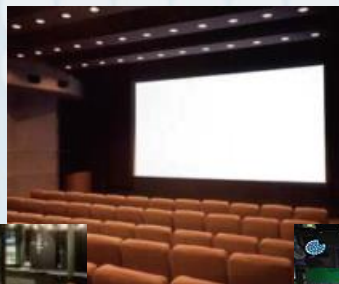
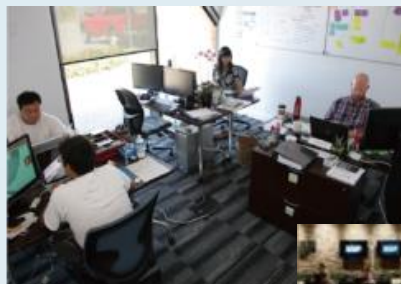
# 施設

1.5haの敷地に地上39階の業務棟と21階の住宅棟を建設します。  
業務棟内に約8,000m<sup>2</sup>のコンテンツ産業の発展を支援する施設を整備します。



- ・研究開発・人材育成スペース  
➡KMDを核とする共同研究機関が入居
  - ・クリエイション・オフィス  
➡コンテンツ企業のニーズに応えるハイスペックなオフィス
  - ・インキュベーター・オフィス  
➡コンテンツ関連起業家を支援する小規模オフィス
  - ・メディアホール
  - ・スタジオ
  - ・交流サロン
- 等

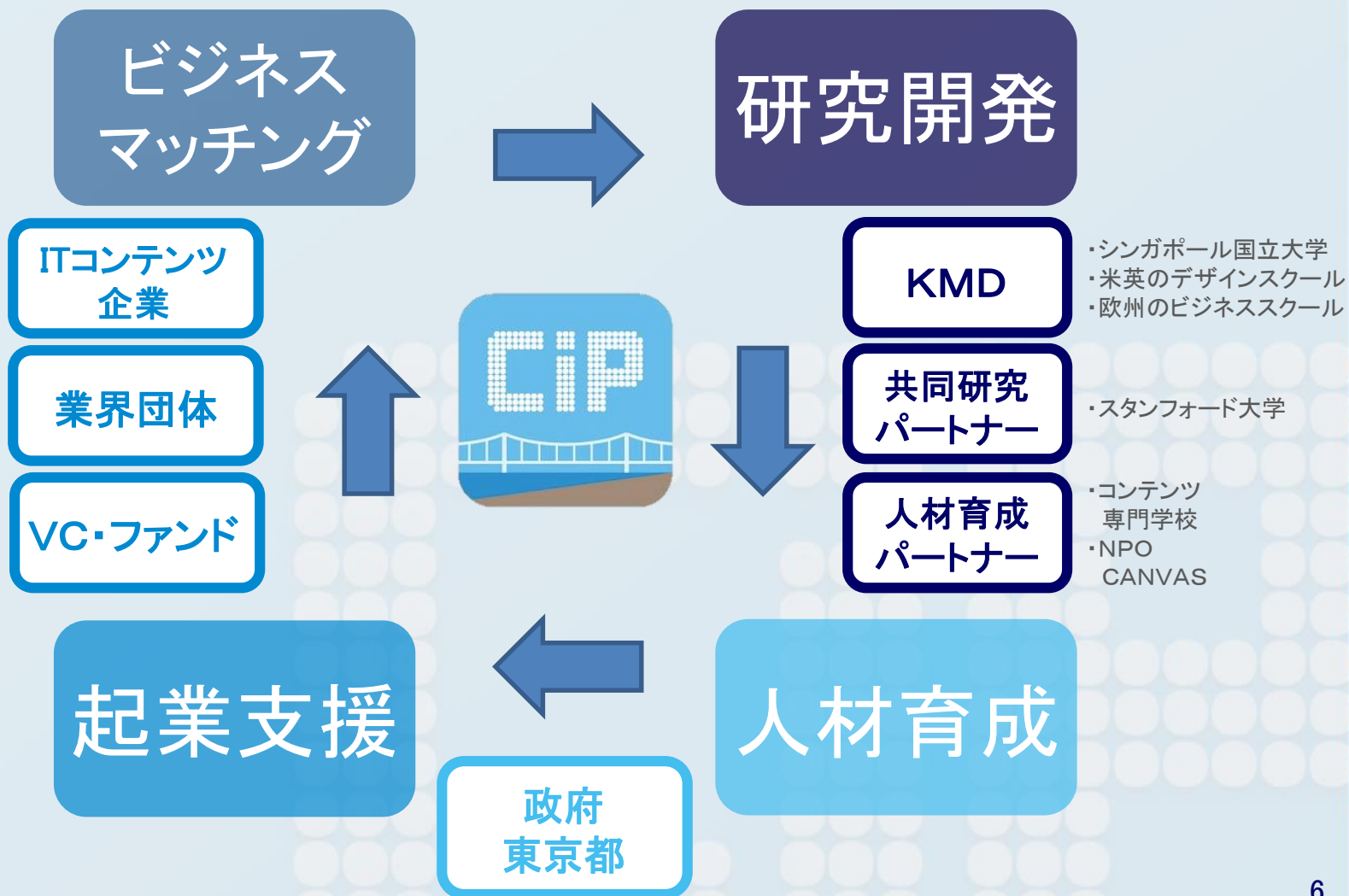
合計  
約8,000m<sup>2</sup>



※計画につきましては、協議中につき今後変更を生じる場合がございます。

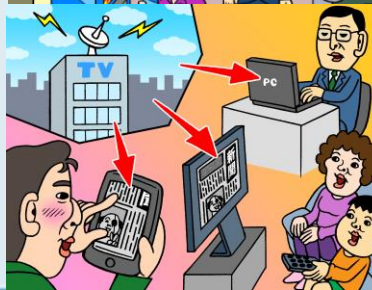
# 全体構想

CiP協議会が中心となり、デジタル×コンテンツに関する研究開発、人材育成、起業支援、ビジネスマッチングの4機能によるサイクルを形成します。



# 研究開発 テーマ例

コンテンツやICTに関する技術、デザイン、ビジネス、教育、政策の研究開発を進めます。  
現在想定しているものには下記のようなテーマがあります。



## 1 アーティストコモンズ・アーカイブ

- ・アーティスト、キャラクター、アスリート等にIDを付番し、コンテンツ、ライブ、関連商品の正規情報を流通させるためのメタデータ体系及び基本データを整備する。
- ・アーティストコモンズを用いて音楽映像アーカイブを整備し、権利者不明の映像を含め、区域限定の公開モデルを作る。

## 2 超人スポーツ

- ・身体とテクノロジーの融合により誰もが身体的・空間的制約を超えて楽しむことができる「人機一体」のスポーツの開発及び普及を行い、関連技術・産業の発展を促す。

## 3 ICTショーケース

- ・防災や多言語サイネージ8Kパブリックビューイングなど次世代表示システムを整備する。
- ・IoT、ウェアラブル、インテリジェント、ビッグデータ等の技術とキャラクターやファッションなどポップカルチャーを組み合わせた情報発信拠点を作る。

## 4 メディア融合

- ・地上放送波を用いたIP4Kコンテンツ伝送、放送波のバルク貸しによる通信利用などメディア融合の技術開発及び実証研究を行う。

# 人材育成 起業支援

研究教育と産業育成が融合したクラスターを形成します。  
例えば代表理事に就任予定のKMD中村伊知哉教授の関わる  
組織・プロジェクトを連結すれば、  
通信・放送、IT、コンテンツ、教育などを横断する  
コミュニティとなります。  
こうしたコミュニティの拡大、強化、新規形成を進めます。

人材育成

起業支援



TOKYO CONTENTS PRODUCERS-LAB  
東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ



Stanford University



内閣官房  
知的財産  
戦略本部



# 期待できる アウトプット

産官学のコミュニティを核としつつ、プロジェクトを通じ、  
ビジネス、場、人材、イベント、政策等を生んでいきます。

2020年代を切り開く  
デジタル・コンテンツ事業

R&D、マッチングを通じた  
ビジネスチャンス

コンテンツクリエイター、  
メディアプロデューサー人材

テストベッドとしての  
特区

産官学  
の  
コミュニティ

プログラミング学習  
などの教育メソッド

海外、地方との  
産官学ネットワーク

若者ユーザと先端技術  
が生む新文化

政策提言  
・  
新制度

超人スポーツ、  
国際会議等のイベント

# CiP協議会

一般社団法人「CiP協議会」を設立します。  
分科会活動、発信・交流を進めていきます。  
代表理事は慶應義塾大学・中村伊知哉教授を予定しています。

<活動案> ※下記は、長期活動案です。2015年度の活動に関しましては、2015年度活動案をご確認ください。

## ・分科会活動

### 研究教育分科会

KMD、スタンフォード大学、関係企業等と連携した研究開発  
マンガ・アニメ人材育成(文部科学省事業との連携)  
キッズ向けワークショップ開催(プログラミング教育等)

### 産業支援分科会

起業コンサルティング、知財サポート  
各種団体と連携したビジネスマッチング

### 政策分科会

IT政策、コンテンツ政策に関する政策提言  
国家戦略特区の規制緩和要求(税制、電波、知財、屋外広告等)

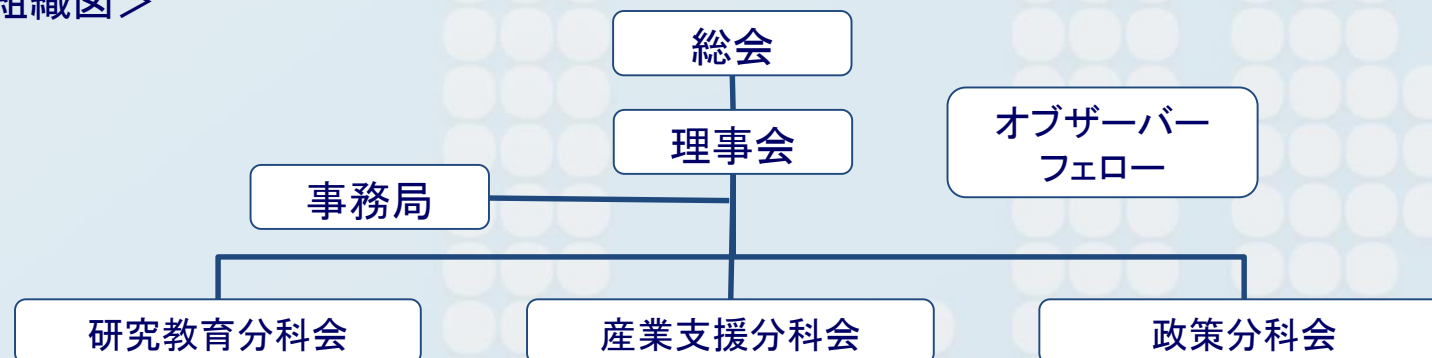
## ・発信・交流

シンポジウム、勉強会、サロン等の開催



中村伊知哉  
慶應義塾大学  
メディアデザイン研究科教授

## <組織図>



# 会員種別

理事、一般会員、賛助会員の3種を設けます。  
賛助会員に、スタートアップ会員、個人会員等を設けます。

## 理事会員

協議会の基本方針(分科会の設置、研究テーマ等)の策定を行い、活動を主導します。  
予算・事業計画の企画決定にあたります。  
総会での議決権を有します。  
会費:100万円/年

## 一般会員

理事会員と同様に総会での議決権を有します。  
分科会、シンポジウム、勉強会等の研究活動に参加できます。  
サロン等の会員間交流イベントに参加できます。  
会費:25万円/年

## 賛助会員

### スタートアップ会員

資本金1000万円未満もしくは設立5年以内の法人を対象とした会員  
各種活動に参加できます。  
会費:10万円/年

### 個人会員(会費5万円/年)

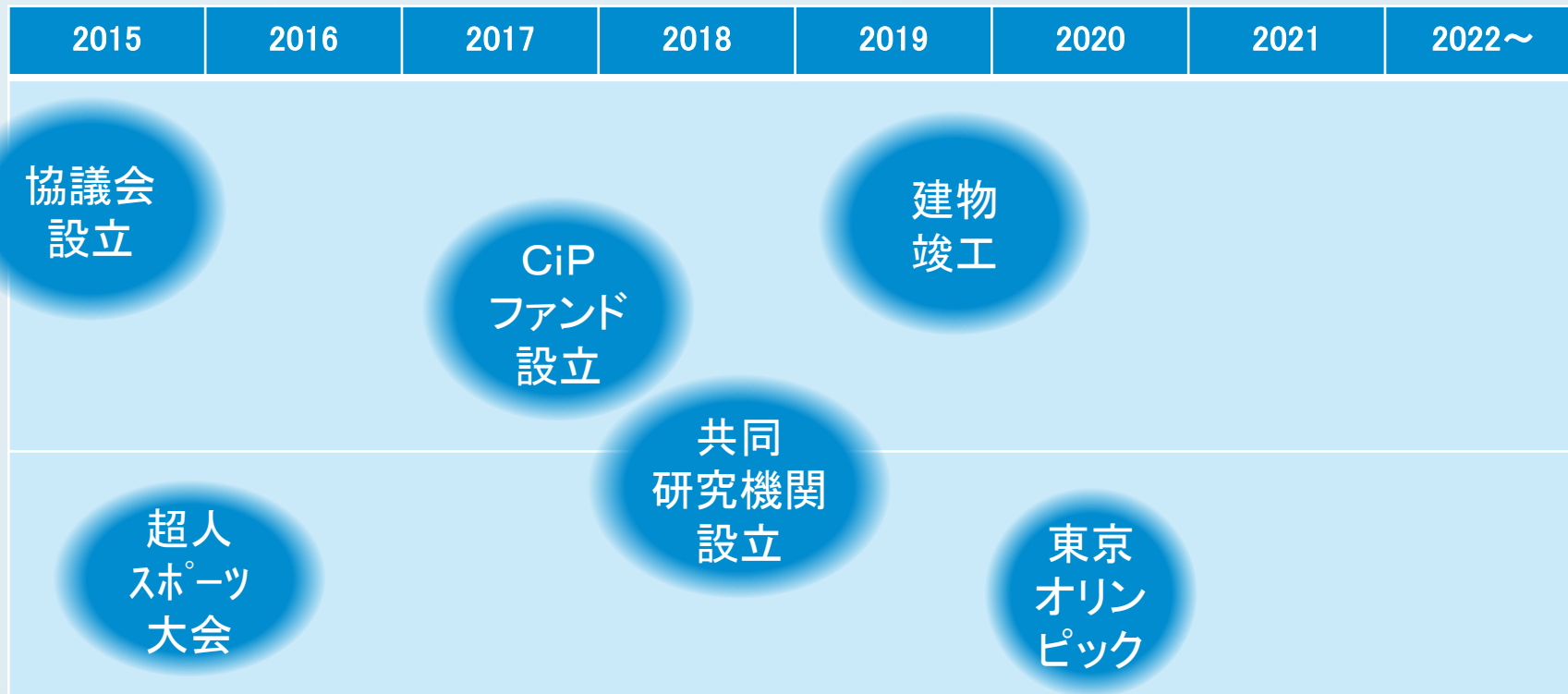
個人を対象とした会員  
各種活動に参加できます(参加制限あり)。  
会費:5万円/年

### フェロー、オブザーバー

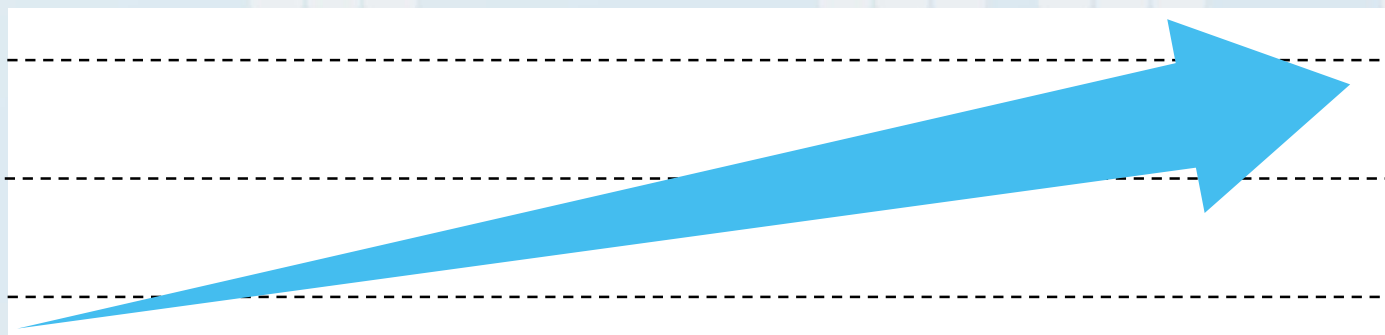
専門家、有識者に関わっていただくことを想定しています。

# スケジュール

今春、協議会を設立し、2019年度に建物が完成予定。  
その間にもさまざまなプロジェクトを動かしていきます。



研究予算  
拡大イメージ



# 2015年度活動案

初年度となる2015年度は、下記のような活動案を想定しています。  
分科会活動を中心に初年度から成果を出すことを目指します。

2015	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総会・シンポ	総会			シンポ								
SALON CiP (勉強会)		1	2	3			4	5	6	7	8	9
産業支援 分科会	2-3か月に1回(通年、大テーマ)											
		1-2か月で 集中議論 (小テーマ)								1-2か月で 集中議論 (小テーマ)		
研究教育 分科会	2-3か月に1回(通年、大テーマ)											
		1-2か月で 集中議論 (小テーマ)								1-2か月で 集中議論 (小テーマ)		
政策分科会	2-3か月に1回(通年、大テーマ)											
		1-2か月で 集中議論 (小テーマ)								1-2か月で 集中議論 (小テーマ)		
(研究機関)	設立準備活動											

※分科会で扱うテーマ等に関しましては、今後、ホームページ、SALON CiP等で随時ご連絡させていただきます。

# 想定会員像

- ・デジタル・コンテンツの新規ビジネス機会を探している方
- ・起業プロジェクトを通じて、スタートアップ企業への出資機会を探している方
- ・海外のビジネス展開ルート、海外共同プロジェクトの開拓をしたい方
- ・特区、テストベッドとして、IoT、著作権などの実証実験を行いたい方
- ・デジタル・コンテンツの先端的な研究開発に参加したい方
- ・慶應義塾大学等の国際的な研究機関との共同研究を行いたい方
- ・インターン、留学生などの人材の確保や、幹部・社員の研修を行いたい方
- ・若者のコミュニティを活用した若年層マーケティングを行いたい方
- ・デジタル・コンテンツ分野の先端的・国際的な情報を得たい方
- ・政府、関係省庁、自治体等との連携を行いたい方
- ・会員間交流でネットワークを広げたい方

## FAQ

- Q1. 2019年の施設開業まで、どのような活動を行うのでしょうか？
- A1. 慶應義塾大学キャンパスその他の拠点を活用します。  
理事・会員の求めに応じ、プロジェクトを立ち上げます。  
研究プロジェクト、教育コース、起業支援プログラム、マッチングイベントなどを実行します。
- Q2. 協議会の運営コスト、会費の使用用途について教えてください。
- A2. 事務局運営、会議・調査・情報提供などの基本活動は  
事業主(アルベログランデ)から協議会に拠出される資金でまかさないです。  
会費は全てプロジェクト経費に充て、アウトプットを重視します。
- Q3. 研究教育や起業支援は、どのような資金で運営するのでしょうか？
- A3. プロジェクト内容に応じ、別途、資金調達する可能性があります。  
既存ファンドとの連携、新規ファンドの形成も検討事項です。
- Q4. 大学等との連携にはどのような可能性がありますか？
- A4. 慶應義塾大学の参画は決定していますが、スタンフォード大学はじめ  
国内、欧米・アジアの有力大学・研究機関との協働を検討しています。  
会員との共同研究を進めつつ、独立研究機関の設立を目指します。
- Q5. 政府との連携にはどのような可能性がありますか？
- A5. 現在、内閣官房知財本部、経済産業省、総務省らと、予算措置、規制緩和  
その他の可能性を協議しています。政府への提言活動も行います。

# 理事・一般会員

2015年3月20日現在、  
以下の企業・団体から申込をいただいています。

## ■理事

株式会社 NTTドコモ  
グリー株式会社  
一般社団法人 日本音楽制作者連盟  
アーティスト commons  
株式会社 エフエム東京  
株式会社 スペースシャワーネットワーク  
学校法人 中央情報学園  
株式会社 アルベログランデ  
一般社団法人 日本動画協会  
マーザ・アニメーションプラネット株式会社  
IPDCフォーラム

## ■一般会員

株式会社 オプト  
コネクト合同会社  
ヒップランドミュージック  
株式会社 文化放送キャリアパートナーズ  
株式会社 東芝  
住友商事株式会社  
株式会社 ディー・エヌ・イー  
株式会社 博報堂 D Y メディアパートナーズ  
デロイト トーマツ  
Disney Japan  
一般社団法人 共同通信社

連絡先: CiP準備会事務局(一般社団法人融合研究所内)

担当: 平田、高橋、亀山

Mail: [cip-info@takeshiba.org](mailto:cip-info@takeshiba.org)

Tel: 03-5114-6722 Fax: 03-5114-6723